

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

食品工場におけるボイラーの更新

(A 重油→都市ガス)

排出削減事業者名：セントラル製麺株式会社

排出削減事業共同実施者名：ES カーボンクレジット合同会社

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	セントラル製麺株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	本社
住所	〒485-0831 愛知県小牧市東4丁目2番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	ES カーボンクレジット合同会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

食品工場におけるボイラーの更新（A 重油→都市ガス）

2.2 排出削減事業の目的

工場で使用しているボイラーを高効率の機種へ更新することにより、二酸化炭素排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

これまで使用していたA重油ボイラーを高効率の都市ガスボイラーに更新することにより、エネルギーの使用の合理化を進め、二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

なし。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2011年10月13日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日～2017年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

なし。

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは工場内のボイラー（更新前3台、更新後2台）およびその蒸気が供給される機器である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合、) 変更理由
$F_{fuel,Pj}$	事業実施後燃料使用量	千 m ³ N	2013 年度：767.294 2014 年度：783.948 2015 年度：729.708 2016 年度：692.487	燃料会社からの請求書等に記 載された値を集計、標準状態 ※に換算する。	
$HV_{fuel,Pj}$	都市ガスの単位発 熱量	GJ/千 m ³ N	2013 年度：44 2014 年度：46.4 2015 年度～ 2016 年度：46	J-クレジットデフォルト値	
ε_{Pj}	事業実施後のボイラー のエネルギー消費効率	%	88.2	カタログ値をもとに算定	
ε_{BL}	事業実施前のボイラー のエネルギー消費効率	%	85.5	カタログ値をもとに算定	
$CF_{fuel,BL}$	事業実施前の燃料(A 重 油)の単位発熱量あたり の排出係数	tCO ₂ /GJ	2013 年度～ 2016 年度：0.0708	J-クレジットデフォルト値	
$CF_{fuel,Pj}$	事業実施後の燃料(都市 ガス)の単位発熱量あた りの排出係数	tCO ₂ /GJ	2013 年度～ 2014 年度：0.0517 2015 年度～ 2016 年度：0.0521	J-クレジットデフォルト値	

※1 モニタリング期間において、気象庁統計データより愛知県(名古屋)での平均気温および中圧(0.981kPa)から標準状態へ換算

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	767.294	44	0.0517	1,745.4
2014 年度	783.948	46.4	0.0517	1,880.6
2015 年度	729.708	46	0.0521	1,748.8
2016 年度	692.487	46	0.0521	1,659.6
	千 m ³ N	GJ/m ³ N	tCO ₂ /GJ	tCO ₂
EM _{PJ}				7,034.4

6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	34,827.1	—	0.0708	2,465.8
2014 年度	37,523.9	—	0.0708	2,656.7
2015 年度	34,626.6	—	0.0708	2,451.6
2016 年度	32,860.3	—	0.0708	2,326.5
	GJ/年	—	tCO ₂ /GJ	tCO ₂
EM _{BL}				9,900.6

6.3 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0			0
2014 年度	0			0
2015 年度	0			0
2016 年度	0			0
LE				0

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	9,900.6
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	7,034.4
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0
温室効果ガス排出削減量	ER	2,866

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン - 実績 (①-②)
3,607.8	3,497.4	110.4

省エネルギー量 (原油換算) = $3607.8 - 3497.4 = 110.4$ kl

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律 (省エネ法) 施行規則第 4 条に規定する換算係数を使用すること。

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年 4月 1日 ~ 2017年 3月 31日)			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
	t			